

**製品名: SEMA4A ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17717**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	84kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SEMA4A
別名	SEMA4A; SEMAB; SEMB; Semaphorin-4A; Semaphorin-B; Sema B
遺伝子 ID	64218.0
SwissProt ID	Q9H3S1
免疫原	抗血清はヒト SEMA4A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 501-550

**背景**

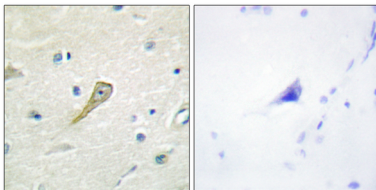
この遺伝子は、可溶性膜貫通タンパク質であるセマフォリンファミリーのメンバーをコードします。セマフォリンは、軸索誘導、形態形成、発癌、免疫調節など、数多くの機能に関与しています。コードされているタンパク質は、免疫グロブリン様 C2 型ドメイ

ン、PSI ドメイン、およびセマドメインを含む、1 回膜貫通型の I 型膜タンパク質です。軸索が成長する際にアクセスできない領域を指定するための局所シグナルを提供することで、軸索の伸長を阻害します。T 細胞性免疫の活性化因子であり、in vitro では血管内皮増殖因子 (VEGF) を介した内皮細胞の遊走および増殖を、in vivo では血管新生を抑制します。この遺伝子の変異は、網膜色素変性症 35 型 (RP35) や錐体桿体ジストロフィー 10 型 (CORD10) などの網膜変性疾患と関連しています。異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが同定されている。疾患: SEMA4A の欠陥は、錐体桿体ジストロフィー 10 型 (CORD10) [MIM: 610283]の原因である。CORD は、色素性網膜症のグループに属する遺伝性網膜ジストロフィーである。CORD は、眼底検査で主に黄斑部に認められる網膜色素沈着と、最初に錐体光受容体が失われ、続いて桿体に変性するのを特徴とする。その結果、中心視野の視力と感度が低下し、続いて周辺視野の喪失が起こる。重度の視力喪失は網膜色素変性症よりも早期に起こる。、疾患: SEMA4A の欠陥は、網膜色素変性症 35 型 (RP35) [MIM: 610282]の原因である。RP は、網膜光受容体細胞の変性を引き起こす。患者は典型的には夜間視力低下と中周辺視野の喪失を呈します。病状が進行するにつれて、遠方周辺視野が失われ、最終的には中心視野も失われます。、機能: 成長中の軸索が到達できない領域を特定する局所シグナルを提供することで、軸索の伸展を阻害します。、類似性: セマフォリンファミリーに属します。、類似性: Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含みます。、類似性: PSI ドメインを 1 つ含みます。、類似性: Sema ドメインを 1 つ含みます。、

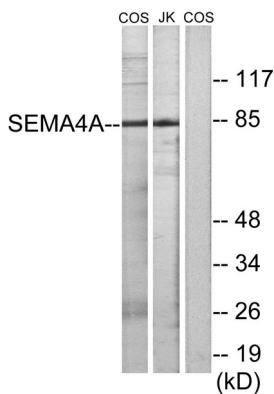
## 研究分野

軸索ガイダンス;

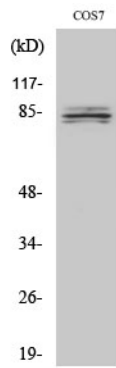
## 画像データ



SEMA4A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



SEMA4A 抗体を用いた COS7 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



SEMA4A ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析